

世の中には星の教程夫婦がいる。ということは、世の中には、星の教程、夫婦喧嘩の理由がある。

けど、うちの場合、夫婦喧嘩の理由は、ほぼ一つだ。

旦那が、私の言うことを、聞いていない。

私が、何かしゃべるでしょう、色々言いたいことがあって、しゃべるでしょう。

旦那は、これを聞いていないことが多い。相槌すら打ってくれない、まったく無視されることが……かなり、あるんだよなー。(まあでも、旦那に言わせれば、私がしゃべりすぎて相槌をはさむ余地がないってことになるのかも知れないが……。)

まあ、確かに。私がしゃべっていることには、内容はない。一日中家にいる主婦にとっての事件(庭のユキヤナギの花が咲いたただの、猫が下痢したただの)か、あるいは、雑誌や本で読んで面白かった話、その程度のことだ。

だから私、自分の話を真剣に旦那に聞いて欲しいだなんて要求しない。「聞き流してくれてまったく問題はないのだ。

けど、でも、だけれども。縁あって夫婦になったんだもの、聞き流すにしたって、せめて気のない「ああ」でも「うう」でも、相槌くらいは、打って欲しいじゃない。

世の中の夫は、何故、妻の話をまともに聞かないのだろうか？(これ、うちだけの話じゃなく……どうも、雑誌等によれば、妻の話を聞き流す夫は、多いみたいなきなのだ。)

面倒なんだろうか？

ああ、うん、それは判る。

一日仕事して、疲れて帰ってきて、それで意味のない話は聞きたくない。その気持ちは……困ったことに、理解できちゃう。

けど、だが。世の中の夫諸君。

その程度のことを“面倒”だと——あなたは、言える義理なのか？ ちょっと冷静に考えてみよう。普通の夫が普通の妻に普通にかけている普通の面倒のほうが、ずっと多いような気がするんだけど……。

いや、家事の問題じゃないのよ。仕事をしている夫と専業主婦の妻って図式なら、家事を全部妻がやっても、それは面倒とは言いがたいだろうし。

ただ、家事以前の。靴下や下着を脱いでその辺にほっばらかす。お茶やコーヒーを飲んだあと、カップをその辺にほったらかす。雑誌や新聞を読んで、適当にその辺にほっばらかす。

夫諸君、あんたたちは、こーゆーことを、日常的にやってはいないか？ そんでもって、それって、片づける身になると……すごい面倒なんだよ。(ちなみに、これは、家事ではない。子供のいる家庭なら判るでしょう、『自分のことは自分でしなさい』。これは、その範囲のことなのである。)

そーゆーことをやっている男が、面倒くさいからって妻の話を聞き流すって……ああ、許せないな、何だか書いているうちに怒りがこみあげてきちゃったぞ、おい、せめて、聞いているふりをするくらいの誠意を見せろよっ！(共稼ぎなら——こりゃもう、とんでもないどころの話ではないのである。面倒くさいだなんて言っている場合じゃないのである。殆ど極悪非道な行為だって気分になってきた。)

(以下略)